



小雀公園 里山通信



Vol.6 ため池で生物調査をおこないました



10月28日のことですが、横浜市職員の方と緑とコミュニティーグループの職員とが合同で、ため池周辺の生物調査を行いました。覚えている方もいらっしゃるかもしれませんが、2年前にため池の中に繁茂したヒメガマを抜き取り、開放水面を広くしたのですが、それによってどのくらい生き物の生息に変化が出たかの確認のため、トンボを中心とした昆虫および、水中にすむ生き物の調査を行いました。

どんな生き物が見られたかというところ、アキアカネ、アオモンイトンボ、アカタテハ、キタテハ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ササキリ、オンブバッタ、クビキリギス、オオカマキリ、ハラビロカマキリなどなど。調査の先生に、草刈の際に刈り残し箇所を設けていることで、昆虫の種類が豊富であると言っていました。ヤッター！！

池の中はと言いますと、エサを入れた網を1時間ほど仕掛けておいたところ、モツゴが300匹以上入っていたようで、これはカワセミのエサとなる大事な生き物です。その他にはヒメタニシやカワニナのほか、外来種のアメリカザリガニ、ウシガエル、カダヤシ、カワリヌマエビなどが観察されました。時期的に飛んでいるトンボの数は少なかったですが、池の中にはコシアキトンボとシオカラトンボのヤゴがいました。

詳しい方に見ていただくと、小雀公園にはたくさんの種類の生き物がすんでいるのがわかり、なんだかうれしくなりました。みなさんもぜひ、来春にでも生き物観察をしてみてくださいね。



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

